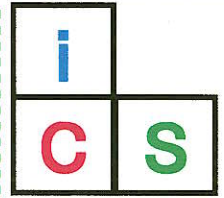


新河岸小コミュニティ・スクール委員会

iCS だより



令和8年度 第1号
板橋区立新河岸小学校
コミュニティ・スクール委員会
令和8年5月12日(火)
校長 金子 陽子



第1回コミュニティ・スクール

委員会開催

- 日時 四月十五日(水) 十四時三十分より
- 場所 本校二階ランチルーム(さくらそう)
- 出席者 十二名(十五名欠席)
- 内容・議題

- 一、委員長挨拶・学校長挨拶
- 一、委員長の選任
- 一、板橋区コミュニティ・スクールの説明
- 一、自己紹介(参加者全員)
- 一、令和8年度の学校経営方針等の説明
- 一、熟議「新河岸小をよりよくするために」
- 一、今後の児童数について(教育委員会より)

四月十五日、令和8年度第1回目のコミュニティ・スクール委員会が開催されました。今年度は新たに板橋特別支援学校長の山岸委員を加え、総勢十四名のメンバーになりました。

また、オブザーバーには、新たに中村委員、小原委員、渡辺委員、芹沢委員、高木委員、河島委員、佐藤委員、藤村委員の八名が加わってくださいました。委員の皆様のお知恵をお借りして、新河岸小学校のため、新河岸地域のために取り組んでいきます。

熟議では、コミュニティ・スクール委員、オブザーバーと共に本校の全教職員も参加しました。「新河岸小学校をよりよくするために」というテーマのもと、

【令和8年度 CS 委員会メンバー】

NO.	委員会区分	氏名	役職
1	地域関係	竹内 康二	コミュニティ・スクール委員長
2	地域関係	古谷 茂	青健高島平地区委員会 会長
3	地域関係	吉田 茂二	新河岸町会 会長
4	地域関係	栗田 秀樹	新河岸工業会 会長
5	地域関係	星野 真一	おおぞらクラブ 会長 元PTA会長
6	地域関係	内橋 裕幸	前PTA会長
7	地域関係	檀上 智紀	PTA 会長
8	学識経験者	高麗 正夫	こうま幼稚園理事長・園長 高島平8丁目 町会長
9	学識経験者	飯塚 裕介	大東文化大学 社会学部 准教授
10	学識経験者	小河 園子	聖学院大学 講師
11	地域関係	平野 美鶴	地域コーディネーター 学校生活支援員
12	中学校長	武田 雅之	板橋区立高島第一中学校 校長
13	特別支援学校 校長	山岸 直人	板橋特別支援学校 校長
14	地域センター所長	工藤 佳朋	高島平地域センター所長
15	【オブザーバー】	中村 利子	新河岸児童館 館長
16	【オブザーバー】	渡邊 建宏	前 iCS 委員長
17	【オブザーバー】	新納 みほ	わかたけ第二保育園 園長
18	【オブザーバー】	小原 寛	小原事務所
19	【オブザーバー】	藤本 智宏	新河岸町会 防災部長
20	【オブザーバー】	藤井 達也	あいキッズ施設長
21	【オブザーバー】	河島 慎吾	河島コンクリート 社長
22	【オブザーバー】	高木 智子	キッチンカー ソレイユ
23	【オブザーバー】	渡辺 雄三	高島第一中学校 CS 委員 高島第一小学校 CS 委員
24	【オブザーバー】	芹沢 義弘	あけぼの会 会長 初代 PTA 会長
25	【オブザーバー】	吉川 孝	新河岸ミュージカル実行委員
26	【オブザーバー】	佐藤 美嘉	高島平地区 民生・児童委員
27	【オブザーバー】	藤村 行一	フードバンク板橋事務局

<p>【日本や都・区の教育について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領 東京都教育施策大綱 MFAI SCHOOL いたばしーいばし教育ビジョン2035 アクションプラン2028 	<p>【教育に関する社会の現状と実態について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新河岸、高島平地域の人口減少・急速に進む少子高齢化による学校の小規模校化 新河岸小学校の子どもたちと地域、保護者の実態 高度情報化時代（SDGs・GIGAスクール） 教育資源が豊富な新河岸、高島平地域の特性 学校教職員の本当の意味での働き方改革の推進 不登校やいじめ、LGBTQ、外国籍児童の増加、個人情報保護など、人権に関わる諸問題 	<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> よく考える子ども ねばり強くやりぬく子ども 仲よく助け合う子ども 明るく元氣な子ども 	<p>学びのエリア 高島第一中学校・高島第一小学校・新河岸小学校 【目指す子ども像】</p> <ul style="list-style-type: none"> あきらめない子ども 自分のよさや可能性を認識し、自ら考えて取り組み、継続できる子ども
<p>【板橋区が目指す人間像】 自立 貢献 共生 創造</p>		<p>目指す学校像</p>	<p>【新河岸小学校のめざす教職員像】 <チーム新河岸></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのことをよく知り、温かくほめる指導をする教職員 高い理想をもち、自分から学び続ける教職員 自分の仕事に責任をもち、最後までやりとげる教職員 学校全体のことを考え、組織で仕事をすることを自覚し、お互いに切磋琢磨し、迅速に情報共有し協働的に取り組む教職員 健康で明るく、子どもや保護者、地域から信頼される教職員
<p>【新河岸小学校のめざす子ども像】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のよさとともに他者のよさを認められる子ども（自己肯定感） 郷土を愛し、地域に貢献する子ども（郷土愛） 		<p>学校を、子どもたちにとって</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心・安全で居心地のよい場所 自己実現を回る場所にする。 	

子どもが、安心・安全な生活が送れる学校	子どもが、自己肯定感を高め、充実感を得られる学校	子どもが、郷土愛をもち、地域と共に育つ学校	教職員が、笑顔で子どもと向き合い、向上を目指す学校
<p>・「副担任」と「学年協力者」の配置により、子どもたち一人ひとりを丁寧に見ていく指導体制</p> <p>・子どもたち一人ひとりを丁寧に見取り、個々の特性に応じた特別支援教育の推進</p> <p>・不登校やいじめ、LGBTQ、個人情報保護など、人権に関わる諸問題の未然防止、早期発見、早期対応と関係諸機関との連携と協力</p> <p>・SC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）の活用と、主任児童委員・民生児童委員、子ども家庭総合支援センター等様々な支援組織との連携</p> <p>・「学校生活の約束」や「学習の約束」など、子どもたちの実態に合わせたルールメイキングと指導の徹底</p> <p>・地域や子どもたちの実態に即したより実践的な安全指導や避難訓練の実施</p> <p>・危機管理マニュアルの全教職員による理解の徹底（不審者対応、アレルギー対応、事故・災害対応、緊急対応等）</p>	<p>・教科書の基礎的・基本的な学習内容を確実に理解するための学習活動の工夫</p> <p>・導入における前時の振り返りによる既習の確認と本時の振り返りで自分の思いや考えを人に伝えることを重視した学習活動</p> <p>・「めあて」「ひとりで学ぶ」「みんなで考える」「まとめ」「振り返り」の「板橋区授業スタンダード新河岸バージョン」による学習過程</p> <p>・タブレットや電子黒板などを積極的に活用し、一人ひとりの児童がもつ疑問や思いに応える個別最適な学びと協働的な学びへの取組</p> <p>・一人ひとりの考えを大切に「考え、話し合う」道徳授業への取組</p> <p>・学校生活をよりよくするために、また、小規模校の特色を生かした学習活動や学級活動、なかよし組活動、学校行事などによる学校・学級づくりの推進</p>	<p>・ICS（コミュニティスクール）委員会を中心とし、PTAやおおぞらクラブ、新河岸工業会等、地域と連携した学習や学校行事への取組</p> <p>・板橋区や新河岸・高島平地域にある魅力的な「人・もの・こと」等、豊富な地域にある教育資源を活用した学習活動の工夫による郷土愛の育成</p> <p>・SDGsと関連した生活科、理科、社会、総合的な学習の時間等、探究的な学習活動の充実</p> <p>・高島第一中学校学びのエリアによる、特別な地域性（川と川に挟まれた地域、工場地域、急速な少子高齢化など）を生かした9年間の小中一貫教育の充実</p> <p>・近隣保育園・幼稚園への本校の特色における情報発信と日頃からの密接な保幼小連携の推進（田植え体験、ちびっ子プロジェクト）</p> <p>・板橋区や青少年健全育成委員会等が主催する地域行事への積極的な参加</p>	<p>・授業導入時の前時の振り返りと終末時の自分の思いや考え等、表現活動を取り入れた新河岸小型「板橋区授業スタンダード」の推進</p> <p>・子どもたちが高い関心・意欲をもって学習に取り組むことのできる学習指導力の向上</p> <p>・一人ひとりの子どもたちに寄り添い丁寧に見取ることのできる生活指導力の向上</p> <p>・笑顔で子どもたちと向き合うことができる明るい風通しのよい職場環境と教員相互が信頼関係の上で尊敬し合うことのできる関係性の構築</p> <p>・子どもたちと向き合う時間と授業準備や指導方法を研修する時間の確保</p> <p>・校内研究の推進「読み解き力の育成」</p> <p>・服務事故防止研修の確実な実施と体罰ゼロ宣言</p> <p>・様々なハラスメントにおける全教職員の意識の向上</p>



～熟議の様子～
CS委員、オブザーバー、教職員との間で、貴重な意見交流ができました。様々な立場の皆様と力を合わせることで、課題解決を図っていきたくと思います。



5月12日には、5年生が田植えを行いました。今回の田植えには、近隣の幼稚園児・保育園児合わせて73名、本校の1・2年生が参加しました。素晴らしい体験活動になりました。



活発な話し合いの様子が見られました。主な意見は次のとおりです。

- ◎ 地域性を大切にしながら、新河岸小学校のさらなる発展を進めること。
- ◎ 子どもに寄り添いながら、確かな学力定着に向けた教育活動を実践すること。
- ◎ 外国籍児童増加に対する教育の実践の重要性。等

《新河岸小学校グランドデザインについて》

学校長からは今年度の学校経営方針等について説明がありました。その中で、いたばしキッズシンガーズや演劇等の練習が新河岸小学校校体育館で行われていることや児童の活躍について、その他にも小規模特認校に向けた活動等についての報告がありました。また、来年度の新河岸小学校五十周年に向けた準備に関して、コミュニティ・スクール委員会でも確認しながら進めていく点を確認しました。

令和8年度も「チーム新河岸」として教職員、保護者、地域の皆様と団結し、誰一人取り残さない新河岸小学校として、「安心・安全で居心地のよい場所」「自己実現を図る場所」にしていきます。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。